

# 入善町議会だより

## 6月定例議会

№. 53号

発行所 入善町議会

編集 入善町議会だより編集委員会  
富山県下新川郡入善町入膳3,255  
☎ 0765 (72) 1100



### 町民会館竣工式典 (5月22日)

## 暑中お見舞い申し上げます

盛夏  
紙上のご挨拶で、個々の暑中見舞状に代えさせていただきます。

- |       |       |
|-------|-------|
| 議長    | 大林 政雄 |
| 副議長   | 西尾 三郎 |
| 議員    | 本多 幸男 |
| "     | 廣瀬喜代志 |
| "     | 五十里隆章 |
| "     | 板川 清治 |
| "     | 松沢 孝衛 |
| "     | 白又 正司 |
| "     | 竹内 壮太 |
| "     | 九里 郁子 |
| "     | 早川 誠一 |
| "     | 佐藤 学英 |
| "     | 広瀬 義孝 |
| "     | 野坂 俊一 |
| "     | 若島 信行 |
| "     | 池原金与志 |
| "     | 石川 昭男 |
| "     | 本田 幸光 |
| "     | 岡島松次郎 |
| "     | 上野 幸一 |
| (議席順) |       |

第6回 入善町

定例町議会

61年度一般会計補正予算(第1号)

2億5千610万円を追加し 総額 58億5千480万円に

6月定例会は去る6月19日から27日(9日間)までの会期で開催した。町長から、上程案件について提案理由の説明、定例会2日目に5名の議員が一般質問を行い最終日に原案のとおり可決した。

議決した主な議案

※昭和60年度入善町一般会計補正予算(第1号)(専決処分) 町民税7千200万円、基金積立金... 農免農道整備事業入善東部地区その1工事(春日、荒又線)...

とにした。 入善町立飯野小学校校体育館新築工事建築主体工事(鉄筋コンクリート造り平屋建て、体育館... 2億5千610万円を追加し予算総額を58億5千480万円とした。

539万1千円 漁村集落環境整備事業費7千348万4千円 下川原国道線改良事業費3千400万円(上野地内) 小中学校施設整備費1千700万円... 昭和61年度入善町老人保健医療



有料となった駅前駐車場

特別会計補正予算(第1号) 昭和60年度医療費の確定に伴い、社会保険診療報酬支払基金等に精算支払するため87万円追加し予算総額16億9千152万円にした。 入善町駐車場条例の一部を改正... 中央駐車場に駅前駐車場と西駐車場を加え、その名称を「入善町営中央駐車場」から「入善町営駐車場」に改めた。

銀行等金融機関の週休2日制の導入に伴い、町税の納期限について、毎月第3土曜日が休みに当るものはその翌々日の月曜日を納期限とした。 ※低開発地域工業開発促進法施行に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正... 昭59年度に創設された退職者医療制度は厚生省の見込み違いにより国保財政を悪化させていったが当町においては約2億円の積立金を取りくずし対処してきた。しかし、これ以上国保財政の取支の均衡を図ることは困難と認め税率を次のとおり改正した。 一、課税限度額 32万円↓37万円に 所得割額 7.5% ↓ 8.3%に 資産割額(固定資産税の) 38.7% ↓ 39.0%に 均等割額(一人につき) 1万2千500円 ↓ 1万5千円に 平等割(一世帯当り) 1万6千円 ↓ 1万8千600円に ※入善町保育所条例の一部を改正 近年、要保育児童は減少傾向にあり、実態に即した各保育所

の定数を次のとおり改正

南部保育所 120人を90人に

芦崎保育所 90人を70人に

舟見保育所 70人を60人に

※入善町児童館条例の一部を改正

旧老人いこいの家を改良し、

5月16日より中央公民館から分

離させ独立児童館にした。(開

館時間9時30分～6時迄)

※入善町国民健康保険条例の一部

を改正

国民健康保険の外国人加入者

の適用対象を今までの朝鮮国籍

のみをすべての外国人とした。

※入善町営住宅管理条例の一部を

改正

国の入居収入基準改訂に伴い

町の入居収入基準8万7千円(

月額)以下から10万円以下に引

き上げた。

※昭和61年度入善町一般会計補正

予算(第2号)

衆参同日選挙に伴う費用とし

て新たに60万円増額補正。

(財源はすべて県委託金によつ

て充てられる。)

※入善町各種委員会委員等の報酬

及び費用弁償並びに実費弁償支

給条例の一部を改正

各種選挙に係る投票票の管理

者等の費用弁償を6千300円から

7千円に、立合人については5

千100円を5千700円に改正

※工事請負契約

団体営林道六谷線開設工事

奥地林道を開設し計画的に造

林するため今年50日工事施工。

契約金額 3千443万円

### 採択された請願・陳情

◆消雪事業の早期着工について請願(芦崎)

◆町道青野、小摺戸線の舗装に関する請願

◆入善町山公民館増設に関する請願

◆農業の将来方向の明確化ならび

に米穀政策の確立に関する請願

◆上下野地内の集落道路雪対策に関する陳情

◆昭和61年農道整備舗装事業に関する陳情(西中)

## 議会日誌

5月



町有林にて説明を聞く

7日 議会運営委員会  
8日 町PTA協議会総会  
9日 議員研修会

11日 町出身県警幹部懇談会  
12日 沖繩県中部地区議長会視察  
来町

7月

3日 入善駅利用促進協議会  
8日 新川広域圏議会行政視察  
(群馬県沼田市)

14日 議員研修視察  
(山形県村山市)  
15日 (宮城県多賀城市)

6月

3日 新川地域製光開業総会  
4日 県町村議長会臨時総会  
5日 産業建設委員会町有林視察  
6日 入善町水防協議会  
9日 議会運営委員会  
10日 都市計画審議会  
12日 東部土地改良区事務所開所式  
13日 入善駅利用促進協議会  
17日 納税貯蓄組合総会  
19日 議員全員協議会

19日 第6回入善町議会定例会(初日)  
20日 議会運営委員会  
23日 議会定例会(2日目)  
23日 議会運営委員会  
24日 総務委員会  
25日 文教厚生委員会  
27日 産業建設委員会  
議員全員協議会  
議会定例会(最終日)

### 舟見中学校 組合議会議員

入善町西中26番地、舟本清一氏  
を選出(故百石山治氏の欠員補充)  
した。

### 黒東合口用水 組合議会議員

入善町野中87番地、清水亀作氏  
を選出(故高田一家氏の欠員補充)  
した。

### 事

# 質問

## 中央公民館の跡地利用は？

第6回

町政の方向をただす5議員



町長の答弁

### プライバシー保護条例を設けるべきでないか

広瀬義孝議員(自民)

問

衆参ダブル選挙で我が国は選挙一色に塗りつぶされている。今回の選挙は国政に於いて重要課題が山積し戦後政治への総決算とも言われる重大な意味を持つ選挙である。町長は勿論、政局の安定を願っておられると思うが、今回の選挙をどの様に受けとめておられるか見解を聞きたい。

一、去る21日の衆議選公示の日には地元候補応援にも出席されたがこのままの姿で行動されるのか。もっと積極的に行動されるのか今後の予定、考え方等をお聞かせ願いたい。

答

二、6月15日に建設省の黒部工事事務所主催で黒部川右岸若菜地先で水防演習が実践さながらに行われた。土木事務所長や各市町の首長が出席されていたが、我が町長は如何なる理由で欠席したのか。

町長

国民が多くの候補者の中、政党の中で本当に国民の代表として適切なかどうかという事は自分なりに判断して投票され、その結果が出ればやはり国民の選択という形になるのが当然だと思う。1989年代後半の我が国の政治のゆくえを左右する極めて重大な政治的意義をもった選挙と理解している。

一、私は今、どの政党にも属していませんので、どの候補者、政党を支持しなければならぬということはないが、町長としての立場で住居候補には補助金確保や陳情等でいろんな機会でお世話になっており、当選していただきたいと思う。新川地区の事務所開き、町の事務所開きなどに参加し挨拶をしてきた。  
二、連絡の手落ちがあった。今後はこのようなことのないように十分留意していきたい。黒部工事

再質問

事務所とは常に町の直轄事業である入善海岸の保全、1級河川の黒部川水防の問題などは常時連絡を取っており、今回、私が出なかつたことよって信頼関係を大きく損うことはないかと考える。

町長

建設省には、黒部川堤防の改修や入善海岸の整備、河川の公園整備など大変世話になっている。消防団の志気への影響、まして来年は黒部工事事務所開設50周年を記念して入善町で水防訓練が行われる。手落ちがあったでは済まされないのではないかと。

町長

神通川での水防訓練に昨年参加しており、水防のあり方は十分理解している。訓練が行われた翌々日、工事事務所の課長が来町されたので色々の話を含めて懇談を持った。

問

一、3月議会で61年度予算中、住民の最も要望の高い町単道路予算は6千万円なので繰越財源等を見極めた上で増額すると答弁されたが、今回計上されていない。今回の陳情、請願の大半も道路等の整備が主なものが増額する考えはないか。  
二、固定資産税、町民税の現段階でわかっている範囲の町税額、増収確定分或いは見込み等、前年対比で説明願いたい。

町長

一、昨年は町長、町議選があり、若干、政治的な配慮をし1億8千万円ぐらゐの予算を執行した。今年の6千万円は十分だと思っていないが今後、税収の確保などの見通しがつければ考えたい。  
二、個人町民税の予算額は8億7千122万円だが、現時点では3千万円ぐらゐの増収が見込まれる。固定資産税の予算額は8億5千221万円だが、3千万円ぐらゐは当初見込みより増額になると把握している。合わせて当初見込みより6千500万円の増収が期待できる。電気料などの値下げで電気税への影響が大きい。ため、税収全体では期待できない。

問

「選挙人名簿大量販売」との見出しで某新聞の一面に載っていた。選挙や公共目的にしか閲覧出来ない地方自治体の選挙人名簿のコピーが東京、大阪等の名簿通信販売業者の間に売買されているのが明らかになっている。私は過去に情報公開に先立ち、プライバシー保護条例を優先すべきでないかと質問したこともあるが、改めて保護条例を制定する考えはないか。

町長

昭和59年9月1日、全国で13番目、北陸で初めて情報公開制度を制定し、その後1年半ほど経過している。この間請求されたもの27件、非公開1件、該当書類の不存在1件である。主な請求者は、入札の結果など建設業の業界新聞社等である。ガラス張り町政や、町民との信頼関係の確立という観点にたち、町民のみならず活用品



日夜出動する消防職員

いた。なお、町として住民情報や計算事務を電算委託しているが再委託の禁止、目的以外の使用禁止、データの複写や複製の禁止、事故発生時の報告義務などデータの機密保持に十分配慮し契約して

## 救急業務を万全に

おり、今、直ちに条例を作って町民のプライバシーを保護しなければならぬという、さし迫った情勢ではないが、今後先進地の実態を十分調査研究し考えていきたい。

### 九里 郁子 議員（共産）

昭和57年以降、年間出動件数300件を超えている救急業務に日夜を問わずたすさわっている消防職員に敬意を表するが、去る5月初旬の真夜中、二人暮らし老夫婦の家で退院間もない夫が出血の状態とな

り救急車の出動を要請したところいろいろ言われたあげく、指定された場所まで雨の中約100m程、妻にすがって歩いていかなければならなかったという。  
一カ月余りで退院されたが、病院では輸血するなど大変だった

ようである。救急車は余程のことがない限り要請しないとと思うので接遇の配慮と共に町民の信頼にこたえる救急業務の充実を要望する。消防長

業務に万全を尽くしているつもりであるが、救急業務は本来、緊急性、公共性を備えた行政サービスであり、住民が等しく利用するものでなければならぬ。とかく批判の対象となつていゝ緊急性の判断について利用者や医師との認識の相違、利用者自身の病状やけがに対する知識不足によるものもあるが物差しをあてるような判断は、困難であり住民の正しい理解をお願いしたい。救急車の依頼について電話があつた場合、家が解り難いことも往々にしてあり、できる限り家族の方に目じるしになることまで出てもうこともある。懇切、丁寧に行つていゝつもりだが、話に行き違ひがあつたものと思ふ。

### 再質問

消防署の職員は22人（うち女性1名）であるが勤務体系の特殊性からして救急車の同時出動や思いがけない火災などがあつたりすると現在の体制では、無理ではないか。国の消防職員の基準人員は、財政課長

基準からすると41名の配置を必要とするが、全国3千233市町村において、おおよそ半数以下で処理しているのが実態である。

保母1人当りの児童数の改善開

題もあるが、働く母親たちが安心して子を産み、育てるには、産休明け保育やゼロ才児保育など保育行政の抜本的見直しが必要とされている。母親の中に保育について困つたことに直面した時、適切な援助の手立てをもちたい人も多くいる。このことから子育ての相談活動や保育情報の公開、保育所の遊び場の解放など保育所を地域の子育てセンターとしての機能を拡充することも大きな課題である。保育に携わる人たちが中心になつて「保育基本計画」のようなものをつくり要望や課題にこたえる保育行政の充実を図つて行くべきでないか。

### 町長

保育需要の対応策として、保育所での受け入れ体制の整備と合わせ広い視野から乳幼児の心身の健

## 中央公民館跡地の

## 利用について

### 竹内 壮 太 議員（無所属）

町民会館の完成により中央公民館は取り壊された。その跡地についての説明では、今、町が取り組もうとしている都市計画事業の物件等移転代替地を決定するまで、町の有料駐車場として利用していきたいとのことである。しかし、跡地をめぐる色んな意見もあるが、スポーツ団体では、卓球やビーチ

全な成長を第一に考えて社会環境や婦人の労働条件の改善といった面からもとらえて対応しなければならぬ。入善町の保育所だけの運営で抜本的に解決出来る問題ではない。母親の産休明け保育の要望にどう応えて行くかが問題となるが現実には、産後8週間後ただちに保育所が預かることは困難であり町としてはゼロ才児保育を行つていない。しかし、これからの時代は保母の研修や施設の整備を図つて対応しなければならぬのではないかとこのように受けとめ方はしている。暫定的な措置として保母0.Bの皆さんにボランティア的に協力を求める方法、あるいは月一回程度保育教室を開き育児に対する実態を理解してもらうなど考えたらどうかと思つている。

バレーボールなど軽スポーツの出来るホールを作つて欲しいと言われている。また、健康センターの運用について考えて見るなら、20数名のリハビリ機能訓練室は非常に狭隘であること、集会などする場合、不自由な体位に拘らず苦勞して2階に上り下りしなければならぬ。さらに今まで中央公民館を利用して住民検診を行つてきたが



取り壊された中央公民館跡地

それがなくなり困っている。真に健康センターの充実を考えるなら広い場所へ移転することも必要だが、財源等からして早急に対応できないものとするなら軽スポーツと健康センターの活用のため敷地の西側で小ホールを増設することができないか。

町長

新しい町民会館に軽スポーツを行う施設がないので武村福祉会館ホールの活用や学校体育館の夜間開放などで現在対応している。指摘のような住民の声も聞いているので何らかの形で設けなければならぬと考えている。中央公民館跡地は50坪あり、できれば西

側の方で健康センター利用者の駐車場のほか、保健事業と軽スポーツを兼ねられるようなものを建設する方法、今一つは、武村福祉会館の老人保養室は上原の老人福祉センターでその機能を果しており、これの転用を図るとすることも含めて検討していきたい。

最近、新聞・テレビで木材の利用について国の施策として見直すことが報ぜられている。これは木材の需要が落ちていることと、木

に学校建設に木材をどう取り組み入れていくか。また、文部省などの指導もあるか。さらに入善小学校の建設に当たりマスタープランも検討中のことと思うが、木材を採用して行くのか。

町長

やわらかい感触やあるいは吸湿性など日本の気候風土にマッチしていることや、昭和70年代に国内産の木材が供給過剰になるなどからして近ごろ提案されてきている。文部省では、学校建築において木

造建築の場合、従来の1平方メートルの補助基準単価7万2千円を昭和61年より鉄筋校舎並みに13万3千円に引き上げられた。砌

波市の幼稚園が木造で建築されるなど、公共施設が増えて行くと思う。しかし、プラス面だけではなしにマイナス面として3階以上のものが許可されない。耐用年数が短いという欠点もある。昭和63年度着工予定の入善小学校の改築に当たっては木材使用にするかは、学校・地区・議会の皆さんの意見を十分聞き検討したい。

この会館の完成に当たり業者より引渡しの際、どのような点に留意し引渡しを終了したか、問題となった点が無かったか、あればその対応をどのようにされたかお聞きしたい。また、コスモホールを使いこなす技術技能職員体制はどのようにしているか。

町長

町民会館内のコスモホールは個性に富んだものにしたということと、特に音楽ホールとして、音響効果のよいものにしたか、かねがね申し上げ、設計事務所にもこの趣旨に沿って依頼をしていた。

## 温泉の利用計画は

問

舟見給水跡地に湧出した温泉の権利、権益について、どのように考えているか、また、町として権益を守るための対策、研究などしているか、そしてその利用計画についてお聞きしたい。

町長

温泉については、あと2カ所ボーリングすれば大体温泉の実態が把握できるので、その結果を踏まえ開発行為をやりたいと言っている。なお先般、関係者から20坪位のプレハブ家を建て簡易温泉を

### 五十里 隆章 議員(自民)

設置したいと町に許可を求めて来ている。町としては、地域の環境保全や水質汚濁、飲料水確保等、関連諸問題があるので、慎重に対応していきたい。温泉の権利については、学会などいろいろな説があり不明な点が多く慣習法として判断される面が多い。町有地にボーリングさせた際の、町との契約に基づいて協議を進めていきたい。

町民会館も入善町の将来の夢を託し、文化の町入善の象徴として開館した。しかし、開館して一カ

月、良いホール、すなわち音響がすばらしいという評価が残念乍ら私の耳に入っていない。

この会館の完成に当たり業者より引渡しの際、どのような点に留意し引渡しを終了したか、問題となった点が無かったか、あればその対応をどのようにされたかお聞きしたい。また、コスモホールを使いこなす技術技能職員体制はどのようにしているか。

町民会館内のコスモホールは個性に富んだものにしたということと、特に音楽ホールとして、音響効果のよいものにしたか、かねがね申し上げ、設計事務所にもこの趣旨に沿って依頼をしていた。

音響には、建築音響の面と機械器々音響という二面がある。音響効果を高める構造的設計には、東京大学名誉教授の石井聖光先生が担当されておりNHKの音響研究所のスタッフとともに日本における最高権威だと承っている。音響状態の測定結果が報告されているが、宮城県中新田町のパツパホールに勝るとも劣らない数値である。開館後多くのイベントを行ったが、お客さんの反響もよかった。また出演者からは、非常に歌いやすかったと好評いただいている。

機械音響については、ナショナルのラムサという機種で国産では最高の品質性能があると評価されている。ただ機械を使いこなす職員については今後、先進地の指導により技術の養成を図っていく。

教育長

検査引渡しについては3月中旬に設営技術者と設計担当がポイントを検査し、3月25日に音響設計者と業者立会で詳細な検査をし、3月27日、町の検査を行いそれぞれ合格している。

問

本町が発注する建設事業で入札予定価格が漏れるという事がないか、その管理体制はどのようなものか、また、入札前から施工業者が決つたかに流言されることがある、いわゆる談合というものはあつてはならないかどうか。

最近、町発注の工事入札時間が遅れることが再三あると聞く。昭和60年度にこのような事が何件あつたか、また、61年度に入つて何件あつたのか、また、業者の出席がなく入札不能になつた理由は何か答弁願う。なお、今後業者をどのように指導され、指名に際してどのような留意点をもつて選定なされているかお伺いする。

町長

入札方法には、公入札と指名競争入札がある。公入札は手続きが複雑であり、また工事の履行能力や信用、技術面など適正を欠く業者が参入することなど考えられ、本町は特殊な例を除きほとんど指名競争入札で行っている。談合の問題については、建設省などからも指示通達が出されているが、指名業者数を増やすなど対応している。入札前に落札業者が決つているとの噂については、事前にそのよう

な事実があれば当然指名替えなどするよう考えねばならない。少くとも業者は疑惑を持たれないよう自粛すべきであろう。本町においては、いやしくも町民の疑惑を招くことのないよう清潔公平な入札に当る。

去る6月3日に指名し、現場説明を行った入善漁港海岸保全施設整備事業入札において、遺憾ながら業者が定刻までに参会せず、やむなく中止をした。この件につき早速業界に厳しく反省を促し、これら対応策として全社指名替えの措置をとつたところである。

助役

入札時間が遅れた件数は、60年度は2件で、うち1件については業者の入札替えを行なつており、もう1件は、事前に業者の方から

若干遅刻の連絡があつたので時間を遅らせ入札を行った。61年度については、先ほど町長の申した1件だが、全社指名替えを行つている。また、指名に際しては、指名業者選定委員会が工事ごと選定している。選定にあたり極力町内業者を指名することを基本前提とし、業者の施行能力その他事業実績や、経営規模等によりまずランクづけをいたし、そのランクに基づき工事の事業金額により指名をいたしている。町の方針としては、その公正性、経済性の原則を維持し町民の信託にこたえない。さらに、業者の健全育成等、建設業界に期待するところ大であるので、町の発注工事は町内の業者の手でという自負心と技術力で町民の信託にこたえる姿勢を期待する。



湧き出る湯

駅前駐車場の料金設定について

本多 幸男 議員(社会)

問 モーターゼーションがますますエスカレートする中、今町民の間で町へ出た時、駐車する場所がなく困つていふという声が多い。町の中心部において気象に止め、そして無料とする駐車場を作る考えはないか。

町長

町内の駐車場は有料になつていながら中町のセントラルパーキングは地元商店街の皆さんが自主的に用地を借りて運営されているので町としても100万円の補助をしている。駅を利用し高山・魚津等へ行かれるフリーの方々を対称に考え駅の東側に350坪ほどの駅長、駅員の官舎跡地の一部を無料駐車場にしたと思つている。そのほか無料駐車場を作ることは大切だが、市街地に適当な場所用地の確保は困難だと思つて、将来の問題として十分検討したい。

問

町営駐車場の料金を定めるとき基準根拠の問題だが、町長が今議会に提案された民間駐車場との兼ね合い、無秩序な車の乗入れ抑制、公費負担の原則は同感であり条例による料金を定めることは私も理解できる。そして金額につい

て、議員全員協議会で町が国鉄より1億6千800万円で購入し、1千35坪の土地に通勤者の車を62台、月額3千円としたという事で今議会に提案されている。しかし国鉄が所有していた時2千円であつたと聞いている。民間は5千円程度が相場のようにあり、民間の貸し駐車場を年中利用されている方は、車庫証明にも使用できるのでないか。質的に異なるものと比較をするのは適当であるかどうか。また、この土地はこれのあと町の重要課題である都市計画に関連した先行投資であり恒久的な駐車場ではないはずで、当面暫定措置として今まで国鉄から借りていたものから徴収していた時と同じ料金で運用される考えはないか。また、西駐車場は今まで無料であり駅前土地を町が財産として買ったことから発生し、駐車場条例の改正というようなことに連動してきたと町民の声を聞く。一連の駐車場料金の設定の根拠を尋ねる。

企画財政課長

指摘のとおり、無料サービスをもって住民の福祉に当るべきかと思つたが、昨今の行政改革、あるいは行政経費の節減や歳入の確保という点からやむを得ない措置とし

た。中央駐車場は月極め3千円であったが、人件費など管理費が高くなってきていることや、セントラルパーキングなど例をみて5千円とした。駅前駐車場については民間との均衡や有料化することによって無秩序な放置を抑制するために有料化した。また、西駐車場(旧グラント跡地)の2千円の有料化は、町が所有する公有財産の原則を踏まえ相応の値段で利用させるものである。駐車料金が高いか安いかは利用価値などで図られると思うが、仮に国鉄用地が民間の手に渡っていたらどのようなことになるか考えて頂きたい。

国鉄を利用するときに駅前にせつかく駐車場があっても一般の人が止める余地がなく、国鉄を利用するときに駅前に駐車できるような場所を設置される考えはないか。東側の方に少し整備したいという話もあったが、もしそういう計画があるとすれば場所といつ頃の施行になるか概要は。

企画財政課長 国鉄駅舎東側用地に無料駐車場を措置したいと考えている。7月中を完成の日処に整備したい。



# 行政 視察 報告 記

七月十四日 山形県村山市

## 行政開発の 温泉を見て

文教厚生委員長 五十里 隆 章 議員

昨年来、町有地内に湧出した温泉を巡る論議が高まりつつある入善を7月14日早朝発つ。

行政が温泉を利用した開発について、その先達「バラ」といって湯のふるさと村山」をスローガンに市制展開する山形県村山市を訪ねる。村山市は、山形県のほぼ中央、最上川を擁する農業の市である。藩政時代「米と紅花の里」として

藩政時代「米と紅花の里」として活況を呈したが、「米と養蚕のまち」を経て、現在、米とさくらんぼを中心に「バラ」といって湯の市として観光に力点がおかれている。昭和56年、21世紀に向けての第二次開発構想を策定、公共下水道事業、土地区画整備事業、広域水道など、都市基盤の整備が進行中であり、更には、新開発地である

基地区は、市民体育館、スイミングスクールなどの体育施設と、クワハウス(多目的温泉保養館の意)を核とした我が国初の健康産業の確立がなされている。

農工一体化をねらいとして準備した用地12畝は工場誘致が進まず温泉開発に着手、60%掘削、幸いにして湧出に成功、泉温40度、毎分500リットルを有する昭和53年6月のことである。山形アルカリア(理想郷)構想の下に、恵まれた自然環境を活かし、高齢化社会の進展の著しい市の実情や、商工業も思うようにならないこと等もあって、健康づくり、体力づくりを目指す社会開発がなされた。

クワハウス基点は、用地8千6坪、建築延面積1千86坪、総事業費18億4千75万円、客室28、大小広間、多目的ホール(300名収容)結婚式場、12種類の風呂をもつ大浴場、トレーニングルーム、健康相談室、研修室、レストルーム、駐車場(130台収容)等を備えた施設である。

管理運営は、財団法人村山市余暇開発公社を設置、財源のほとんどは公債費である。その他、県補助金3千万円、宝くじ協会の6千万円がある。施設の機能は、温泉を楽しみながら健康づくりに活用し、実践するための施設として、温泉保養ゾーン、健康管理ゾーン、トレーニングゾーン、コミュニティゾーンを有機的に共有するものとして、ヘルスケアトレーナー3名、栄養士、医師(顧問医)を置き、運動処方、トレーニング管理指導、栄養指導、健康管理指導等を行う。

60年度(開館4年次)の経営収支では、年間売り上げ5億円で年間償還金3千万円、赤字1千万円を一般会計に繰り入れるまでになっている。利用者比率は、市内18.5%、県内4.5%、県外3.5%となっている。以上のことからまちづくりの大いに貢献していることが窺える。雇用の促進(67名雇用)税収増(入湯税1千万円)飲食税(県税2千万円)医療費の減少、商店街形成など、影響効果が表われはじめて

いる。昭和59年、国民保健温泉地指定、昭和61年、国民保健温泉地指定(共に環境庁)を受け、発展途上にあるこの「クワハウス基点」も、利用者増により手狭さが問題となつている。特に、長期滞在、合宿利用(周辺に体育施設あり)



説明を聞く議員一行

等に対応しきれない。総合的なトレーニング、休養施設の遅れ、泉質からくる金属部の腐食等の問題があると研修した処である。

我が入善町が、これから良質な量の湯量を誇る舟見温泉(仮称)の開発指針として、行政主導の方向づけとして、大いに参考となつたと考へる。舟見台地、舟見山周辺の自然、黒部川河川敷、入善米、海の幸、朝日宇奈月等の観光資源、林道利用の散策コース、遊歩コース、そして総合的な健康づくりを核とした保養、リハビリ、福祉、体育ゾーンの設置を大々的にすすめるべきであると確信して村山市を後にした。



七月十六日 宮城県多賀城市

# 都市計画事業を見て

産業建設委員長

板川 清 治 議員

入善町が近い将来、駅前より国道八号線に向けて直線道路を予定している(中央通り線)整備のこと、又は舟見の寿楽苑近辺に湧出した温泉利用に関する後学の目的で、去る7月14日(月)から16日(水)にかけて議員一行(参加者19名)が山形県村山市と宮城県多賀城市を視察しました。

村山市は「クワハウス」のある地として有名な市です。

村山市が温泉を掘り当て、財団法人(余暇開発公社)を設立し独自で健康産業の確立をしたからです。即ち、行政指導型で独自に開発した健康づくりの多目的温泉保養館(クワハウス)の経営に取り組んだ全国で初めての自治体として各地から関心が寄せられています。

一方、多賀城市は名前の通り約千二百六十年前、多賀城があった地であり、城の名を永久に残す意味で付けられています。

又、多賀城跡は奈良時代初期から約600年の間、東北地方の中心として政治をおさめた陸奥の国府跡があったところで、「奈良の平城宮」や「福岡の太宰府」と共に「日本三大史跡」の一つに数えられ、国の特別史跡に指定されており由

緒深い地でした。

私の視察記は都市計画街路や駅前整備の先進している多賀城市についてですので、多少詳しく報告致します。

多賀城市(人口約5万3千300人)は仙台市と塩釜市の間に位置しており、昭和46年7月に仙台港が開港され、仙台港臨海地域の一核として脚光をあげ人口が急増しているところでした。

又、仙台港に面している地形的優位から石油、電力、ガス、鉄鋼、弱電などの工場群が進出しています。

特に近年、弱電の大手ソニーが進出しており多賀城市のドル箱的存在であるとのことでした。

広域的には仙台湾地区として昭和39年3月より新産業都市としての国の指定を受けており、近代的文化都市として発展している羨ましい所でもあります。

例えば、東北歴史資料館、昭和54年に15億2千500万円で総合体育館の建設、昭和57年には、全国でも数少ない太陽熱を利用した省エネ温泉プール(約7億4千万円)児童館、他に沢山ありますが、中でも感心したのは普通の子供と障害をもつ子供を混合保育すること

によって、子供たちがお互いに助け合い励まし合う心を芽ばえさせこれを通じて障害の克服に必要な機能訓練と生活指導を行う施設、「太陽の家」が建設されているのを知りました。

さて、視察の主目的である都市計画事業について、特に街路、商店街の整備や駅前開発についてですが、多賀城市の街路基本計画は仙台市との円滑な接続を確保し、一方、隣接の塩釜市とは市街地の連担性を強めるために梯子状の街路配置を基調とし用途地域との整合と公共施設への連絡が図られていることでした。

・30・20級の道路が整備され、市街地は幅員16・14・12級の道路が整備され、新たに拡幅工事も進んでいる最中です。

昭和52年に16級道路(市道)をつくったが、今ではもう狭く当時思い切つて20級にしておけばよかったと都市計画課長が後悔していました。

道路の拡幅や新設で最大の課題は用地買収ですが、特に地権者との交渉について、担当課は昼夜を問わず街路事業の公共性や完了後の効用を充分説明し理解を求めているとのことですが、物権移転の代替地等の問題については、担当課は考えてあげる余裕も時間もな

いし、職員として他にやらねばならない仕事が増えているのでと代替地の要求には応じていないとの説明を聞き驚きました。

職員が市民の奉仕者であるという自覚と誇りをもって難問題に取り組む姿勢が関係住民や地権者の寛大な気持ちを惹きさせているのであらうと思われました。

最後に、商店街の整備や駅周辺の開発構想については都市化の進展に対処して民間資本の導入による都市街地の形成に努力をしていることがあげられます。

例えば、地元商店会の反対にも拘らず、駅に隣接して大型店の長崎屋(売地面積、8千500平方メートル)が進出し、ようやく近く建設されることになったとのこと、又は、市が駅前遊休地、6千平方メートル(坪当たり38万円)を買収しショッピングセンター(民営)の設置などを構想しているのです。

街路整備や駅前開発によって立派な街路にふさわしい建物などが建設され、或いは、未利用地は盛んに開発されています。

特に、商業地域では通過交通が排除され、歩道も整備されることにより歩行者が増加し商業活動が一段と活性化されるでしょう。

結局、購買力流出防止のため、且つ、住民生活の向上を図るための都市計画事業は、先々をよく考えたものでなければいけないことを痛感して視察を終えました。



整備された都市計画道路 (従前7m道路)

# 常任委員会・審査のあらまし

## 総務



### 補助金

#### 獲得を評価する

委員長 松沢孝衛 議員

意見

一、一般会計補正額2億5千610万円の財源の59%は国県補助金であり、これは陳情の努力として評価する。

一、60年度一般会計の剰余金は3億3千万円余り生じているが、61年度で予算化した残り1億4千余万円の財源は町民要望に充てるなり、また今後の大型事業に備えるべきである。

債の借入れについては慎重に運営されたい。

一、国鉄入善駅構内用地は多額の経費をかけて買取したところであり、一時的にしろ西側用地を有料駐車場としたことは応益負担の原則からして当然である。なお、東側用地の利用も検討されているようだが、議会とも十分相談されたい。

一、国民健康保険税は前年より20%増額となるが、過去の蓄積がなくなっていることや、医療費が毎年71.8%伸びている現状、近隣市町の状況から見ても止むを得ない。医療費が上昇しないよう予防に努められたい。

## 文教厚生

### 町民会館内の案内標示はわかりやすいように

委員長 五十里隆章 議員



意見

一、町史の資料編その1の発行部数は1千部とされるが、予約募集して相当日数が経過していること

や再版が困難なことでもあり、再度広報等で希望をとられたい。

一、児童館は設立の主旨に沿った管理運営方をお願いすると共に全校

## 産業建設

### 町単道路

#### 予算をアップせよ

委員長 板川清治 議員



意見

一、補正予算額2億5千610万円のうち2億1千83万8千円が産業建設部門の増額補正であり、そのうち海岸保全整備事業、集落環境整備事業、道路新設改良など1億5千65万8千円の国・県補助金がついたことは誠に国の財政下において、町と議会が一丸となって陳情した効果であり評価できる。

一、大幅に事業費が伸びたことは建設業の育成上喜ばしいことであるが、執行に当たって町民の不評を買わないようお願いしたい。

一、国・県補助対象とならない道路、水路事業費は町民の要望に比べて少しでも予算額を上乗せするよう努力されたい。

一、若鳥栴山寺線は、着手して相

利用されていることは喜ばしい。今回補正で自転車置場の設置費を計上したが、そのほか気づかなかった点も出てくると思う。町民の一部には催し物の案内や会館内部の開取り等について解りにくいとの声もあるので順次対応して頂きたい。

当年数が経過しており、今年度計画の用地買収には全力をそそぎ、早期完成に向けて努力されたい。

一、長年の懸案である中央通り線について、国道8号線の交差点などとの取付け構造計画の委託費を計上することになった。着工に向けて更に努力をお願いする。

一、国の法改正によって町営住宅入居の収入基準が若干緩和されることになった。より一層の管理運営をお願いする。



## 編集後記



\*やっつ梅雨があけて、いよいよ夏本番。海に川に子供たちの声が、ことのほか大きく聞かれる季節です。事故に会わないよう、みんなを配ってあげたいものです。

\*入善町史(資料編1)が発行されています。非常に専門的ではありますが、後世に引き継ぐ貴重なものであり、また再版が困難なことからして議会としても再度町民の皆様様にさらにPRするよう町長部局へ進言しています。

\*多額の費用を投じた町民会館も5月22日にオープンとなりましたが、連日のように各種催し物が開かれ賑わっています。町民の皆様も一度は訪れて下さい。

\*異状低温により今年の黒部ズイカは大変小粒のようです。売れ行きに影響のないことを念じています。

\*猛暑の続く折、町民の皆様には十分健康に留意の程、お祈り申し上げます。

- 議会だより編集委員
- 大林 政雄
  - 西尾 三郎
  - 松沢 孝衛
  - 五十里隆章
  - 板川 清治
  - 岡島松太郎
  - 広瀬 義孝
  - 竹内 壮太